

夏

本番間近! 大学入試改革
の教育セミナー

8月5日(月)

福岡

13:00 ~ 17:30 (交歓会 ~ 18:30)

講演者

(敬称略) ※8/1現在

基調講演

大学入試改革



義本 博司

独立行政法人
大学入試センター 理事

1961年生。84年京都大学法学部卒業。文部科学省に入省後、91年福岡県教育委員会義務教育課長、2013年大臣官房審議官(初等教育局担当)等を経て、17年高等教育局長。18年1月より現職。



文部科学省

特別講演①

大学のアドミッション・ポリシー

九州大学
丸野 俊一

理事・副学長

昭和47年鹿児島大学教育学部卒業。九州大学大学院教育学研究科修士課程修了、博士課程中退。教育学博士。平成6年から九州大学教授。大学院人間環境学研究院院長、附属図書館長、理事・副学長、基幹教育院長などを歴任し、平成26年10月より理事・副学長。



特別講演②

留学促進・支援



濱田 悠佑

文部科学省官民協働
海外留学創出プロジェクト
「トビタテ! 留学JAPAN
日本代表プログラム」
高校生コース担当トビタテ!
留学JAPAN

分科会

授業実践 [英語]



安河内 哲也

東進ハイスクール・東進衛星予備校 講師

中学生から社会人までの英語力を劇的に向上させることで定評がある。著作の累計は350万部超。TOEIC®公式セミナーや英検協会での教材監修を担当。TOEIC試験4技能(LRSW合計)1390点満点。文部科学省や東京都の英語教育関連審議会の委員も務めている。

message 授業のやり方を知識伝達の講義型授業から、活動型授業に切り替えて、はや教年が経ちました。その間に日本中の先生方から最新の方法を学び、教室で実践してきました。この分科会では、その中から、生徒たちのリスニング力やスピーキング力の向上に特に効果があった活動、楽しくモチベーションが上がった活動をセレクトして紹介します。また、すぐに使えるパワポのスライドデータも参加者と共有いたします。

分科会

授業実践 [数学]



鶴迫 貴司

東山高校 教諭

1977年生まれ。昨年の「夏のエデュケーション」で登壇し、日本教育新聞社発行の記事には、新テストへ向けた内容を具体的に紹介するなど、他府県でのセミナーも行っている。著書には月刊誌「現代数学(現代数学社)」の連載をはじめ、「受験数学Journal(知恵の館文庫)」『もしこの問題に出会わなかったとしたら? (現代数学社)』などがある。新テストへ繋がる題材や2次試験を見据えた内容を採り上げ、それらを考究できる素地を提供するなど各界から好評を得ている。

message 試行調査の分析と新学習指導要領「解説」を合わせた内容に基づき、普段の授業で活かせる新テストに向けた内容を具体的に紹介するとともに、学力の3要素を構築できるような題材を扱いたいと思います。

分科会

授業実践 [国語]



齋藤 祐

中央大学附属高校 教諭

東京学芸大学卒業。2005年より中央大学杉並高等学校教諭。2018年4月より中央大学附属中学校・高等学校に期限付きで異動中。三省堂高等学校国語教科書編集委員。NHKラジオ高校講座「国語総合」、Eテレ「国語表現」監修講師。都留文科大学非常勤講師。

message 探究学習って教科学習と何が違うの? ルーブリック評価は定期テストの代わりになるの? AIやICTがもっと身近になったら、教員の役割っていったい何? 今こそ学校が存在する意義を、いっしょに考えましょう。

分科会

授業実践 [探究]



中島 博司

茨城県立並木中等教育学校 校長

1959年生。土浦一高、筑波大学をへて、茨城県の高教員となり主に日本史を教える。「はじめる日本史」(Z会出版社)、「日本史B教科書」(清水書院)、「茨城県の歴史散歩」(山川出版社)等、多数の執筆あり。2015年から「アクティブ・ラーニング」について研究し、教育雑誌・新聞に執筆している。2016年から現職。近年は「種蒔く人」として、全国各地で研修会の講師をつとめている。

message 本校は、開校12年目の中高一貫校です。開校当初から探究活動に取り組んでおり、2017年度からは理数探究を先行実施しています。分科会では、本校の理数探究の取組とともに、探究につながるオリジナルの「アクティブ・ラーニング」についてお話しします。

会場 ヒルトン福岡シーホーク

アクセス

地下鉄「唐人町」駅もしくは「西新」駅より
徒歩19分・タクシー6分・バス6分
JR・地下鉄「博多」駅、地下鉄「天神」駅よりバス20分
(福岡空港からのバスもあり)

所在地

〒810-8650 福岡市中央区地行浜2-2-3

